

令和2年度 社会福祉法人雄心会 事業計画

《基本理念》

「安心できる環境で良質かつ専門的な福祉サービスを提供する」

—実践要綱—

1. 良質な福祉サービス

- ・利用者ご家族の尊厳を尊重し、生き甲斐のある自立した生活を実現できるよう支援する。
- ・専門的な知識と技術を研鑽し常に地域福祉の先端を目指す。
- ・教育、研究分野に対する積極的な姿勢を持ち、福祉サービスの向上を図る。

2. 社会貢献

- ・地域の住民、行政、関係機関と連携を図り、地域の福祉ニーズに積極的に対応する。
- ・地域の皆さんと分け隔てなく支え合う幅広い福祉サービスを提供する。

3. 利用者の満足

- ・思考と行動を利用者中心とし、利用者、家族から信頼される福祉サービスを提供する。
- ・相手を尊重し温かみある対応を心がけ、心が通じ合う福祉サービスを提供する。

4. 職員幸福

- ・職員全員が福祉の心を持ち、自己を高める事ができる人材育成をする。
- ・職員その家族の幸せを考えられる職場作りに努める。

《法人全体の事業計画》

昨年度、江差町内において進めてきた「養護老人ホームひのき」改築工事が無事完了し、これにより当法人の運営施設が3施設に拡大しました。今後円滑な事業運営のために本部と各施設の事務長、施設長、ホーム長、看護師長ら上級職と運営状況の情報共有、運営戦略等のディスカッションをする場が必要と考え、新年度より定期上級職会議（仮称）を設置します。また各施設の業務において責任と役割を明確化するために施設拠点ごとの事務分掌を早急に作成します。一方、事業拡大に伴い職員数がここ2年間で急激に増加し、加えてマイナンバー、ストレスチェック導入などの世間情勢からも労務管理業務がより多角化しております。この点から業務の改善・効率化を図るべく「人事給与システム」の導入の検討と実現を目標とします。

また近年、日本の生産年齢人口減少、介護職員の離職等の事情から、新年度より「外国人技能実習生」制度を活用し、ベトナムからの人材受入体制整備に努めます。第1期生の受入は「介護老人保健施設いなほ」で進め、実績を評価しながら、他施設への導入も検討していきます。さらに人材不足の補完と「働き方改革」に向けて、各部署の「ペーパーレス化」「IT化」を促進し、作業効率強化とより働きやすい職場環境作りに注力し、業界内において「働いてみたい施設」と注目されることを目指します。

《介護老人保健施設いなほの事業計画》

1. 事業計画総括

3施設中、今や「基幹事業」として位置づけられる老健事業ですが、昨年度は入院者数も多く、入所部門の稼働率が目標値よりも低迷続きでした。通所部門においても同様であり、新年度は目標

値に到達できるよう各部門で課題の抽出・解消に取り組み、安定した施設運営を目指します。

また、厚生労働省が推奨している老健の「在宅復帰」機能強化に向けて、その体制整備に取り組みます。かつここ数年休止していたセラピスト中心に開催してきた「地域リハビリテーション講座」再開に向けて各関係機関と調整し、令和2年度中の開催を目指します。これにより施設利用者のみではなく、地域の「介護予防」を推進し、当施設が北斗市の「地域包括ケア」推進のための重要拠点施設の役割が担えるよう尽力してまいります。

—各事業の運営目標—

	事業種別	目標（1日平均利用者数）
1	介護老人保健施設事業	92.0名
2	短期入所療養介護事業	1.1名
3	通所リハビリテーション事業	31.0名
4	介護予防通所リハビリテーション事業	4.0名

2. 老 健：年間行事予定

月	行 事	目 的
4月	外出ドライブ（各ユニット企画）	外出により気分転換や季節感を味わう。
5月	お花見ドライブ	近隣の「桜」の名所へ出かけ、利用者に楽しい時間を過ごしていただく。
6月	外出ドライブ（各ユニット企画）	外出により気分転換や季節感を味わう。
7月	七夕祭り	地域の子供を招き、日本古来の行事や交流を楽しんでいただく。
8月	いなほ祭り	夏祭り行事として複合型施設と合同開催。各種イベントを企画する。
9月	慶祝会	祝い年齢該当者のお祝いや地域ボランティアを招致する。
10月	紅葉見学ドライブ	紅葉見学から季節の変化を感じてもらう。
11月	調理レクリエーション（各ユニット企画）	旬の食材を使用しリハビリを兼ねた調理を利用者と一緒に行う。
12月	クリスマス会	地域ボランティアを招き、季節にちなんだ食事と催しを楽しんでいただく。
1月	新年会	職員やボランティアによる余興などで新年を皆でお祝いする。
2月	節分	豆まきを実施して邪気を払い一年の無病息災を祈願する
3月	調理レクリエーション（各ユニット企画）	旬の食材を使用しリハビリを兼ねた調理を利用者と一緒に行う。

3. 各種委員会運営計画

委員会名	頻度	目的
教育委員会	月1回	職員の専門的教育計画を策定し、質の高いケアを実践できるよう指導する。
広報・ボランティア委員会	月1回	福祉活動の拠点となり、地域との連携を大切に活動する。
感染対策委員会	2ヶ月に1回	感染症防止と発生時、適切な対処法を効果的かつ効率的に機能し実践する。
安全抑制対策委員会	月1回	事故、身体拘束及び虐待の防止と適切な対処方法を効果的かつ効率的に機能し実践する。
企画委員会	随時	慶祝会、クリスマス会、新年会の施設行事の企画運営を実施する。
口腔衛生委員会	月1回	口腔衛生の維持・向上を主眼に置く。一連の口腔清掃を中心とした口腔ケアと機能の増進を図る。
衛生管理委員会	月1回	施設職員の労務環境、健康管理等の維持・改善について協議する。

《複合型施設いなほの事業計画》

1. 事業計画総括

開設してこの2年間は利用者の確保や「温泉プール」をはじめとした新たな取り組みに試行錯誤を重ねてまいりました。3年目を迎える令和2年度は、施設としての基盤をより盤石なものとするべく、「ケア」の質向上を目指し職員の各種研修会参加の推進、施設内勉強会の企画・開催や「法人全体」でも掲げた事務分掌の確立、各種マニュアル等の関係書類や委員会構成及び活動内容等の見直しに取り組みます。また事業運営ではデイサービス事業、多機能型自立訓練事業の通所系事業の新規利用者獲得に向けてより一層の広報活動、各関係機関との連携を強化します。加えて提供している訓練プログラムの充実化に向けて、既存の内容の評価や新プログラム考案に取り組みます。入居系事業では特養・サ高住の2事業の安定した運営に向けて、業務内容の改善や行事内容の充実化、また各医療機関との連携に努めてまいります。

―各事業の運営目標―

	事業種別	目標（1日平均利用者数）	
1	地域密着型特別養護老人ホーム事業	26.0名	
2	短期入所生活介護事業	2.5名	
3	通所介護事業	23.0名 ※R3年3月末時点	
4	第1号通所事業（総合事業）	17.0名 ※R3年3月末時点	
5	居宅介護支援事業	居宅支援	100件
		受託事業	16件
6	多機能型自立訓練事業	機能訓練	9.0名 ※R3年3月末時点
		生活訓練	5.0名 ※R3年3月末時点
7	サービス付き高齢者向け住宅事業	1人部屋	23室
		2人部屋	9室

2. 特 養：年間行事予定

月	行 事	目 的
4月	外出ドライブ（各ユニット企画）	季節を感じていただき気分転換を図る。
5月	お花見ドライブ	近隣の「桜」の名所へ出かけ、気分転換や他者との交流を図る。
6月	ほあかり合同運動会	他ユニットとの交流や身体を動かす機会を作り、活動場面の拡大を図る。
7月	七夕祭り	日本古来の行事を実施し短冊に長寿等の祈願を行う。また地域の子供と交流や気分転換を図る。
8月	いなほ祭り	夏祭り行事として老健施設と合同開催。他者との交流を図る。
9月	慶祝会	長寿のお祝いや地域ボランティアを招き、交流や気分転換を図る。
10月	紅葉見学ドライブ	紅葉見学から季節の変化を感じてもらう。
11月	北斗市文化祭見学	地域行事へ参加し、作成した作品を鑑賞することで地域とのふれあいを感じてもらう。
12月	クリスマス会	地域ボランティアを招いての余興や季節にちなんだ食事と催しを楽しんでいただく。
1月	新年会	職員やボランティアによる余興などで新年を皆でお祝いする。
2月	節分	豆まきを実施して邪気を払い一年の無病息災を祈願する
3月	お雛祭り	入居者と一緒に日本の伝統行事を祝いながら季節を感じつつ交流や気分転換を図る。

3. サ高住：年間行事予定

月	行 事	目 的
4月	外出ドライブ（お買い物）	季節に合わせた衣服の購入や気分転換や他者との交流を深める。
5月	お花見ドライブ	桜を鑑賞し、季節を感じていただくことで気分転換や他者との交流を図る。
6月	外出ドライブ（外食）	おしゃれをして楽しんでもらいながら、気分転換をしつつ外食を満喫してもらう。
7月	①外出ドライブ（名所めぐり） ②七夕祭り	①観光名所等へ出かけ、昔を懐かしみながら、地域交流を深める。 ②日本古来の行事を実施し短冊に長寿等の祈願を行う。また地域の子供と交流や気分転換を図る。

8月	①流しソーメン ②いなほ祭りや地域のお祭り参加	①季節を感じて頂き気分転換を図る。 ②様々な祭りへ参加し季節感を楽しみ、地域・他者との交流や気分転換を図る。
9月	①慶祝会 ②外出ドライブ（お買い物）	①長寿のお祝いや地域ボランティアを招き、交流や気分転換を図る。 ②季節に合わせた衣服の購入や気分転換や他者との交流を深める。
10月	①果物狩り（サクランボ、ブルーベリー等） ②紅葉見学ドライブ	①自然の中で食べるもぎたての旬の果物を味わい、季節感や交流を深め、気分転換を図る。 ②紅葉見学から季節の変化を感じてもらう。
11月	北斗市文化祭見学	地域行事へ参加し、作成した作品を鑑賞することで地域とのふれあいを感じてもらう。
12月	クリスマス会	地域ボランティアを招いての余興や季節にちなんだ食事と催しを楽しんでいただく。
1月	新年会（調理レクリエーション）	利用者と協同しながら料理を楽しみ、気分転換や他者との交流を図る。
2月	節分	豆まきを実施して邪気を払い一年の無病息災を祈願する
3月	お雛祭り	入居者と一緒に日本の伝統行事を祝いながら季節感を感じつつ交流や気分転換を図る。

4. 各種委員会運営計画

新年度も前年度に引き続き、「介護老人保健施設いなほ」と合同開催とする。

《養護老人ホームひのきの事業計画》

1. 事業計画総括

昨年12月1日より江差町東山から柳崎へ新築移転、新たに介護保険事業である「特定施設入居者生活介護」、「短期入所生活介護」、「居宅介護支援」の事業指定認可を受けて新事業を開始しました。これにより在宅高齢者に対する「相談窓口」機能を有するとともに利用者ご家族のレスパイト支援も可能な施設となりました。また養護老人ホーム入所対象者には介護が必要となっても継続して居住可能な環境を提供できるようになりました。加えて新年度より「通所介護」事業開設も計画しており、地域住民の心身機能の維持・向上に貢献するサービスも提供する。

これにより職員数も増えることから施設が「チーム」として円滑に機能するよう各種委員会を組織し、定期委員会開催や勉強会等の企画及び開催に取り組んでまいります。また令和2年度は生まれ変わった「養護老人ホームひのき」をより地域住民の方々から親しんでもらえるように広報活動や町内活動への参加などに努めていく。さらに、町職員、地域包括支援センター、関係機関との連携強化を図り、江差町の「地域包括ケア」の一翼を担えるよう職員一同尽力してまいります。

—各事業の運営目標—

	事業種別	目標（1日平均利用者数）	
1	養護老人ホーム事業（一般）	24.0名	
2	養護老人ホーム事業（特定施設）	34.5名	
3	短期入所生活介護事業	7.4名	
4	居宅介護支援事業	居宅支援	51.5件
		受託事業	20件

【通所介護事業の開設】

「養護老人ホームひのき」の新たな機能として、令和2年4月1日を目途に「通所介護事業」を開設します。これにより地域住民へ心身機能維持・向上や介護予防へ貢献するサービスを提供してまいります。またホーム入居者にとっても当該利用者らとの交流が、画一的になり易い生活に刺激を与え、自らも「地域の中の一人である」と再認識してもらうことで生活意欲向上を期待します。

また事業所の特色として機能訓練指導員に作業療法士を配置、専門的な身体機能評価に基づくさまざまな機能訓練メニューの提供を中軸とすることで、より特色感のある運営を方針とする。

内 容	計 画 概 略
事業所名	デイサービスセンターひのき（仮称）
開設時期	令和2年4月1日
場 所 等	檜山郡江差町字柳崎町86-2 養護老人ホームひのき1階 専有延床面積：141.15㎡
定 員	20名
職 員	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者 1名（施設長が兼務） ・生活相談員 2名（うち1名が兼務） ・看護職員 1名（機能訓練指導員兼務） ・機能訓練指導員 1名（介護職員兼務） ・介護職員 2名（うち1名が兼務） ・他 食事提供は施設内厨房を使用し委託業者へ依頼
サービス内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・営業日 月曜日～土曜日 ・休業日 毎週日曜日、年末年始 ・サービス提供時間 5時間以上6時間未満 ・事業実施地域 江差町、乙部町、厚沢部町、上ノ国町 ・食事の提供 あり ・加算等 個別機能訓練加算、入浴介助加算 他

なお、開設初年度の利用目標は、令和3年3月末までに1日平均利用者数6.5名を目標値と定める。

2. 養 護：年間行事予定

月	行事	目的
4月	外出ドライブ（各ユニット企画）	外出により気分転換や季節感を味わう。
5月	お花見ドライブ	近隣の「桜」の名所へ出かけ、利用者に楽しい時間を過ごしていただく。
6月	①屋外レクリエーション ②運動会	①外出の機会や施設屋外にある畑を耕し作物を植え入所者とともに管理収穫までの活動を楽しむ。 ②健康増進の啓発も含め運動会を企画。
7月	七夕祭り	地域の子供を招き、日本古来の行事や交流を楽しんでいただく。
8月	納涼祭 ※町内会祭りへの参加	夏祭り行事として開催。各種イベントを企画する。柳崎町内会と連携を図り、地域行事への参加を企画及び検討。
9月	敬老会	祝い年齢該当者のお祝いや慰問者等を調整し企画及び実施。
10月	①紅葉見学ドライブ ②収穫祭	①外出の機会を作り四季の変化を味わい又買い物や外食を企画、楽しんでいただく。 ②畑で育てた作物を収穫し実りを楽しむ。
11月	調理レクリエーション（各ユニット企画）	収穫した食材を含め調理内容を企画・調理を利用者と一緒に行う。
12月	クリスマス会	地域ボランティアを招き、季節にちなんだ食事と催しを楽しんでいただく。
1月	新年会・謡道会	職員やボランティアによる余興などで新年を皆でお祝いする。 子供民謡の披露
2月	節分	豆まきを実施して邪気を払い一年の無病息災を祈願する。
3月	調理レクリエーション（各ユニット企画）	旬の食材を使用しリハビリを兼ねた調理を利用者と一緒に行う。

3. 各種委員会運営計画

委員会名	頻 度	目 的
教育委員会	1回/3ヶ月	職員の専門的教育計画を策定し、質の高いケアを実践できるよう指導する。
レク・行事委員会	1回/3ヶ月	日常生活におけるレクリエーションや運動の機会、趣味活動などメリハリのある生活が送れるよう企画・運営を行う。
感染対策委員会	1回/3ヶ月	感染症防止と発生時、適切な対処法を効果的かつ効率的に機能し実践する。

安全対策委員会	1回/3ヶ月	ヒヤリハットやインシデントレポートを通じ、介護事故等に対し適切な対処方法を効果的かつ効率的に機能し実践する。
身体拘束廃止委員会 (虐待防止委員会)	1回/3ヶ月	事故、身体拘束及び虐待の防止についての知識及び理解を深めるとともにリスク管理を行う。 3ヶ月1回の研修会の開催及び外部研修への参加